

令和4(2022)年 No.1240

広報 いせはら

Public Relations Paper

主な記事

- 2 市制記念日表彰
- 4 5 移ろう季節を感じ、楽しめる場所へ
- 8 県道611号 大山バイパスが全線開通します

3月1日

# ISEHARA

## 自熱、大山こまの頂上決戦



心棒が太く安定感のある形に、紺や赤を中心とした色彩豊かなろくろ模様。この特徴的な玩具を使った熱戦が会場内で繰り広げられています。

1月15日、総合運動公園の市体育館で「GET KOMA CHAMPION!! いせはら独楽チャンピオンシップ 2021小学校対抗選手権」が開催されました。

この大会は学校の関係者や伊勢原青年会議所が主体となり、子どもたちに郷土の魅力伝えるとともに、地域と学校の交流や地元愛の醸成などを目的に、平成17(2005)年から「伊勢原観光道灌まつり」に合わせて行われてきました。

感染症の影響で道灌まつりが2年連続で中止となったため、開催を望む子どもたちの声を受け、初の単独実施。

市内の小学校で行われた代表選考会を勝ち抜いた約100人の児童が参加し、的に投げ入れて得点を競う「寿命こま」、回った時間を競う「寿命こま」の2競技を、それぞれ個人戦と団体戦で行いました。

よく回ることから、家内安全や五穀豊穡、商売繁盛の縁起物として江戸時代中期以降、地域で愛され続けている大山こま。その伝統は若い世代に引き継がれています。